

研究のアプローチ

1 多様なPPP手法の検討

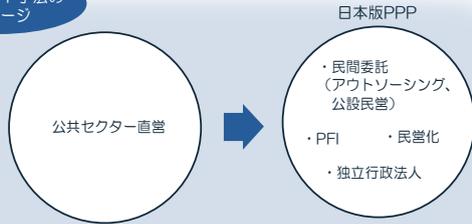
【現況】

事業手法の選定段階において、従来型事業方式とPFI方式のLCCのみを比較

【提案】

- ・ PFI手法を含む多様な官民パートナーシップ手法による事業手法の比較
- ・ 従来型事業方式におけるDB (Design Build) や CM (Construction Management) 等の検討

多様なPPP手法のイメージ

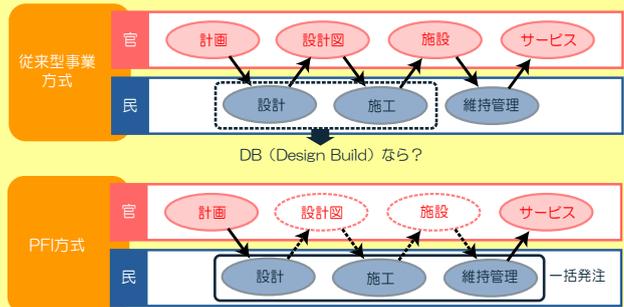


※ 日本版PPP研究会による事業タイプの例示

【提案1 - 多様な官民パートナーシップ手法による比較】

事業方式	継続性	自立的性	政策反映可能性
民営化 (狭義)	○	○	×
公団・公社	○	×	○
PFI	○	○	△
第三セクター	○	△	△
アウトソーシング	△	△	○
DB (Design Build)	△	△	○
従来型分離発注	×	×	○

【提案2 - 従来型事業方式における業務統合等の検討】



2 客観的な評価・選定手法の確立

【現況】

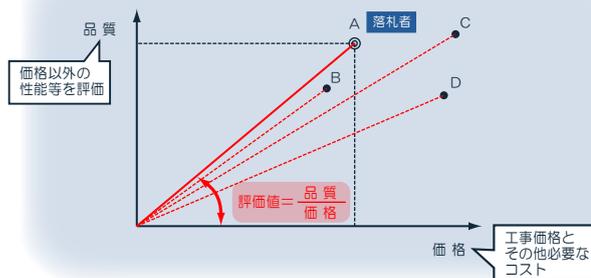
民間事業者の選定段階における総合評価方式において、価格重視の傾向

【提案】

- ・ 事業の特性に合わせた、適正な総合評価方式の選定

民間事業者選定のイメージ

評価値の高い民間事業者に選定 (グラフの傾きが大きい)
※ 除算方式の場合



【提案 - 事業の特性に応じた適正な総合評価の推進】

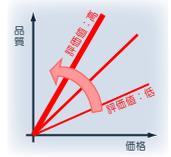
事業の特性

評価方式の特徴

【コスト重視型の事業】
コストと性能のバランスに重点を置いた事業

【除算方式】

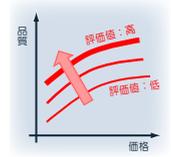
- ・ 「高性能/高価格」と「低性能/低価格」の峻別が重要
- ・ 評価値が大きくなると、品質向上より価格低下が優先



【性能重視型の事業①】
性能に重点があり、技術提案内容に競合性の余地が大きい事業

【比例による加算方式】

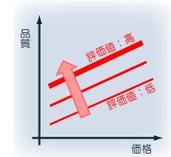
- ・ 評価のウェイトづけ次第で提案の性能内容に重点を置いた評価が可能
- ・ 技術提案内容が競合する場合、最低入札価格との相対的な価格による評価



【性能重視型の事業②】
性能に重点があり、技術提案内容に競合性の余地が小さい事業

【差分式による加算方式】

- ・ 評価のウェイトづけ次第で提案の性能内容に重点を置いた評価が可能
- ・ 技術提案内容が競合する場合、品質向上と価格低下のバランスによる評価



3 適切なリスク分担の設定

【現況】

「適切なリスク分担」に関する判断基準が確立していない

【提案】

- ・ 臨機応変なリスク分担に対応した民間事業者へのインセンティブが働く制度的仕組み

【提案 - リスク分担の制度的仕組みの検討】

① リスクプレミアムの自己表明の仕組み

標準的なリスク分担と事業内容や諸条件に応じた調整を予め設定し、民間からの技術提案の中でプレミアムを表明させる仕組みの検討

② 民間事業者へのインセンティブ設計の仕組み

リスク分担と連動したボーナスやペナルティを契約で確保することにより、民間事業者へのインセンティブを高める仕組みの検討

